



北海道議会議員

# 真下 紀子

はつらつ道政レポート 354

2022年6月12日 発行

真下紀子事務所 旭川市3条16丁目左7号

TEL0166-20-0808 FAX0166-20-1616

E-mail : m.noriko.office@gmail.com



低い道民の家計と経済に大打撃を与えています。真下紀子道議団長は「困窮者を広くとらえ、産業が危ぶまれることないよう長期的展望を持った支援対策を講じてほしい」と緊急対策を強く求めました。

要望書では、物価高騰対策本部を設置し、燃油・物価高騰、公共料金値上げで道民生活・中小業者と労働者、農林漁業への影響と実態を把握し、偏ることなく負担軽減と物価高騰補填にとりくむこと 生活困窮者への支援は従来の枠組みにとらわれず、ひとり親家庭、失



必要な課題」としつつも、「少しでも安心して暮らせるような支援を市町村と連携していく」と答えました。

日本共産党道議団は5月30日、原油価格・物価高騰に直面する道民の暮らしと経済を守る手厚い支援対策として補正予算を編成するよう鈴木直道知事に緊急要望しました。

## 原油・物価高から生活守れ 実効ある対策 知事に緊急要望

コロナ禍とウクライナ侵略に加え、アベノミクスの失敗による急激な円安によって、原油・燃料や食料など生活必需品が高騰し、他県に比べ賃金、所得が

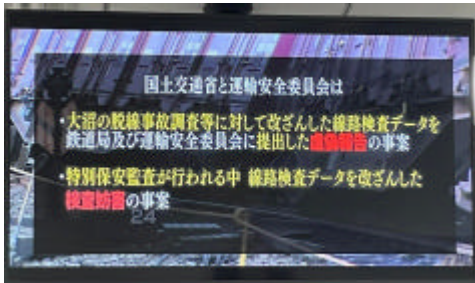
# 安全第一 対策は万全か

## 安全軽視の経営姿勢に問題



石勝線事故の車両写真

施設内に展示されている石勝線脱線火災事故を起こした車両は、まるで戦争で爆撃を受けたような残骸です。外形は残っているものの、椅子などの車中の設備は全て溶け落ち、死亡者が出なかったことは奇跡的です。



陣は現場のデータ改ざんを気づいていなかった」「車輪の摩耗を把握していたが修繕がまにあってい

30日、道議会地方路線問題調査特別委員会、2011年の石勝線脱線火災事故、キハ183系エンジントラブル、大沼駅構内貨物列車脱線事故・線路データ改ざんなどの一連の事故・事象により、事業改善命令・監督命令を受けたJR北海道の社員研修センター・安全研修館を視察しました。

事故当時者だった喜多龍一委員長は事故の凄まじさを伝える再現映像の公開を求め、島田修社長は「検討する」と答弁。島田修社長は、赤字解消と無理な高速化や車両酷使など安全を軽視した経営姿勢に問題があったと説明する一方、「経営

なかった」など、現場に問題があるかのように説明。真下議員は、「経営陣の責任をどう考えているのか」と質問し、島田社長は改めて赤字解消最優先の経営が問題だったと認めました。

現場で運転士と車掌が緊急時に判断できる研修となっているのか。個別の事故現場の緊急連絡や避難誘導訓練、乗客への広報も必要ではないか」と提案し「赤字より安全第一というが、赤字路線を廃線に導くことはないのか」と確認。



島田社長は「安全対策は赤字とは別」と答えながら「必要な所は対策をとる」と、赤字の度合いで優先度を決める姿勢に終始しました。

業者、内定取り消し者、学生、生活保護世帯と対象を幅広く設定し、給付金、家賃支援の対象とすること 社会福祉施設・事業所、医療機関が公共料金や食材費の高騰に対応できるように緊急に財政支援を行う 消費税率引き下げ、インボイス中止、事業復活支援金や雇用調整助成金の継続を国に求めるーなどを盛り込んでいます。

# 痴漢被害アンケート結果公表

## 18歳以下の被害8割、生活の場面で

今年4月末までの3カ月間、札幌市を中心に痴漢被害の実態をつかむアンケートを日本共産党北海道委員会が実施。30日、道政記者クラブで



会見しました。

回答は全道各地から寄せられ75・6%が被害にあつたと回答しています。初めて痴漢被害にあつた年齢は18歳以下が最も多く約8割にのぼ

ります。被害にあつた場所は、路上や通勤通学途中の電車、地下鉄、商業施設や職場、学校に至るなど生活のあらゆる場面で起きています。

自由記欄には、「眠れなくなつた」「家から出られなくなつた」など、人生を左右する被害の深刻さが浮き彫りになりました。痴漢は絶対に許されない性暴力です。

道議会で初めて痴漢撲滅の質問をした真下議員は、「行政による実態調査、匿名相談や被害防止対策も提案し、性暴力のない社会をめざしていきます」と話しました。

## 多様な農業、飼料の自給向上を 大型飼料センター、マイペース酪農を視察

### TMRセンター

北海道の食料自給率を向上していくために欠かせないのが家畜飼料の自給率向上です。輸入飼料が高騰していますが、10年以上前から自給飼料の生産・配送にとりくんできた中標津町JAけねべつTMRセンターアクシスを訪問。

鈴木直良理事から施設案内と説明を受けました。

巨大なバンガローサイロが並び、施設内の圧縮梱包機で次々と作られる



様子は、まるで飼料工場です。構成戸数もバンガローサイロも増え、出荷乳量は1・5倍に。良質粗飼料の生産が安定的にでき、初期投資を抑えられるので新規就農する方々にも好評とのことでした。

一方、資材や機械、燃油高騰に加え、大型機械の作業で草地在が踏み固められ、土を掘り返す8年ごとの草地更新にも費用がかかり、乳量を増産しても維持管理などの費用負担が重いことが課題です。

### マイペース酪農

一方、牧草面積に比例した牛の数で育てているのが、マイペース酪農です。「牛は生き物」、健康な牛から、能力に応じて牛乳を搾ることができるといいます。一年中同じ餌でなく、夏は放牧して青草をいっぱい食べています。乳量はそのままで、出産回数も多く、牛も長生きです。大型機械への大きな投資も必要なく、何十年も前のFORDトラク



## 気候変動対策 林業・植樹の予算確保を

苫東・和みの森で開催された第72回北海道植樹祭に参加、赤エゾマツを植えてきました。ウッドショックで、道産木材は高価格で道外で取引され、道内の需要に間に合いません。伐採後は育てた苗を植えて、森林の温室効果ガス吸収や国土保全機能を活かすことが必要です。1日、全道林活議員連盟の役員として、林業を気候変動対策として位置づけ、苗生産や作業道整備、人材養成等の予算確保を求めてきました。



ターは修理しやすく、現役です。

働き方にも余裕があり、「これから継ぎたい」と後継者につなぎ、経営委譲した親世代は気楽になつて牛を世話できるといいます。

「健康な牛を育て、環境負荷の少ない循環型酪農を営むことが大事」と牛糞の観察も欠かせません。

多様な農業ができるように所得補償・価格保証などの支援で農業のやりがいを支える必要があります。

真下議員が「ペーペース」と呼ぶと、放牧中の牛たちが集まってきました。